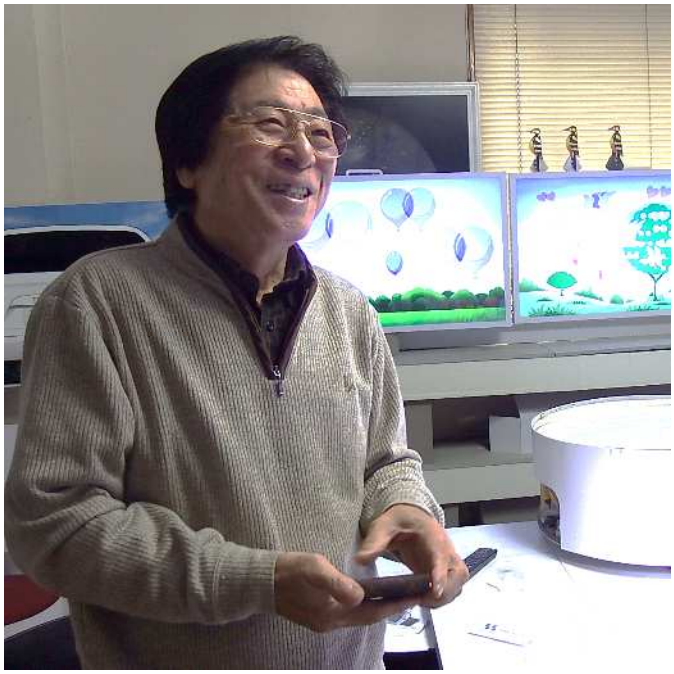
元気のヒ・ケ・ツ
足立の商人・創人

2018年11月発行

【編集・発行】
足立区産業経済部産業振興課
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム
【問い合わせ先】
足立区産業経済部産業振興課
3880－5865（直通）

偏光板アートと万華鏡等の作品を製造販売
有限会社プリントアート　代表取締役　島崎　勝信　さん

偏光板アートを生み出し、両目で見る万華鏡でも新たな感動を与え続ける島崎勝信さん。常に人々をワクワクさせるものを作り出すその源はどこにあるのか、いつも明るく元気なそのヒケツにグッと迫ります。



いつからデザインの仕事を始められたのですか。

デザイン学校を出てすぐ独立してフリーでずっとやってきた。印刷物のデザインをするグラフィックデザイナーだったんだ。だけど長年やってきたのに振り返ってみたら、どこにも自分の作品が残っていないことに気づいたんだ。

かっこいいポスターやカタログを作っても結局は全部捨てられちゃう。本当に空しいことをやっているような気がして。それで立体物に移行していったんだよね。

ダンボールでも、形になると、もうこれを捨てようとする人いないでしょ。（写真1）命が生まれるんだよ。立体物はいいよね。

（写真1）流行の3Dプリンタは必要ない。島崎さんの想像力と経験を持ってすれば、ダンボールですら輝きを得る。金属で作ったようなリアルなアートに変身する。

偏光板アートの不思議
（東京都発明展　東京都知事賞受賞）

色がない作品なのに、偏光板というフィルムを透かして見るとなぜか色が見えてくる。

また、偏光板の角度を変えて見ると、刻々と色が変化していく不思議なアートです。

その他、パターンが変化したり、偏光3Dメガネをかけて見ると絵や文字が飛び出して見える作品や、偏光板を回転させて見ると、止まっている絵が動き出したりと、偏光板アートは不思議で楽しいアートです。

お弟子さんはいらっしゃるのですか。

弟子はいない。島崎っていう、こんな面白いアートやってた男がいたよな、でいいの。

偏光板っていう面白い素材にめぐり合って、偏光板アートって名前を付けて、特許も取ったし、東京都知事賞ももらったけど、その後、特許は放棄したんだ。　偏光板アートをみんなにやってほしいから。弟子はいないけど、来る人にはみんな教えてあげてる。芸術系大学や大学院の学生まで大勢ここに来てますよ。小学生も自由研究にやりたいって来るしね。

技術継承は惜しみなくやってる。本当に興味を抱いてやる人がいれば、どうぞと。閉じ込めはしないよ、もちろん。（偏光板アートをアレンジしたい若手が）出てきてほしいね。

（左）はさみチョキチョキ「はい、できたよ。」何の変哲もない色紙に生命が宿りアートが誕生。

万華鏡を制作されたきっかけは何ですか？

30年位前に、たまたま机の上にあった万華鏡を「大きくしたらどうなるんだろう。」と思って、上から両目で覗けるようにしたわけよ。自分で感動した。片目で見るのとは全然違う世界だから。

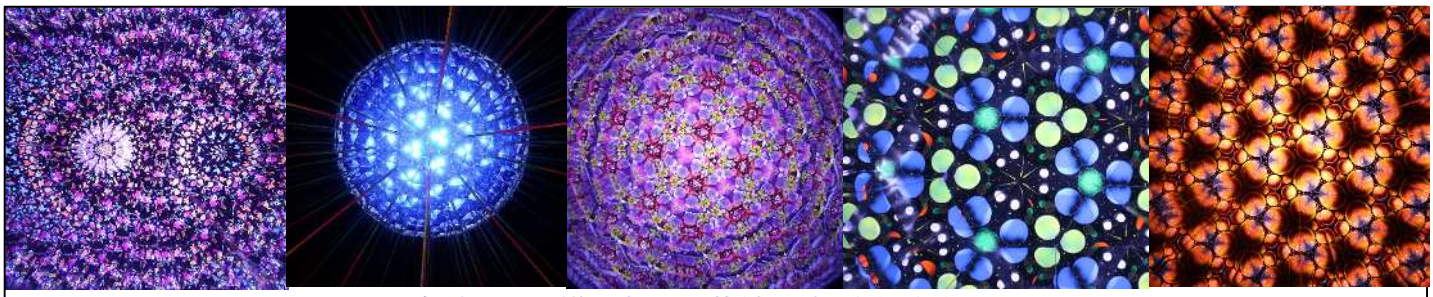
その後、高さや傾きを変えられて、車椅子の人でも見ることができる大きい万華鏡（写真2）を作ったの。ある会場でお母さんに付き添われた車椅子の男の子がいた。微動だにしないで見てた。見終わったらその子、お母さんの顔見てニコって笑ったんだよ。お母さんが、「うちの子が笑うことなんて滅多にないの。ありがとう。」って泣きながら握手求めてきた。そういうことがあって、万華鏡って何なんだろうと研究し始めたんですよ。

（写真2）車椅子に座ったままで見られる万華鏡。

（上）年配の方も焦点が合うように作られた万華鏡。筒の中には好きなものを入れられる。

元気のヒケツを教えてください。

ものを作っていると完成した時に感動があるんだけど、この感動が健康の秘訣かな。人間の右脳を鍛えるには楽しいことを一杯やって感動を得ることなの。たまたま出会った医学博士の川村賢司先生から「認知症は物忘れからじゃないよ、感動薄れからだよ。」って言われてね。大人になると、自分で感動を探すしかないわけだけど、ものづくりは感動を得るのにすごくいいと思っているわけ。



島崎さんが織り成す万華鏡の世界（一例）
（国際万華鏡協会展　最優秀賞受賞）

自分は楽しいことが好きなんだ。金儲けは後でいい。まずは自分が楽しいものを色々作っている。売れると思って作るんじゃないんだよ。楽しいから作るわけ。何かテーマが見つかると、ずっとそのことを考えている。そうすると朝起きようとした時にぱっと思い浮かんだりだとかね。

そうやって好きなことやってて、今75歳だけど、病気したことないです。絶対に欠かさないのがヨーグルトと蜂蜜とビタミンC。もう30年以上毎日食べてる。ヨーグルトは腸にいいと思ってる。で、蜂蜜は疲れた時とかにすごく即効性があると思ってる。それからビタミンCは、自分の中ではだよ、病原菌を殺すと信じているんだ。（気は心ですね、それが薬ですね。）そうなの。そのお蔭もあって健康なのかなと思ったりもするよ。

― 編集者より ―

NPO法人万華鏡セラピー研究会の会長としても万華鏡の普及に努める島崎さん。

「今を一生懸命やって、何か成功したら、これができたんだから、次これもできないかなって段々膨らんで夢になるんだよ。」

この言葉に心が揺さぶられました。ご自身が楽しんで、感動する生き方そのものが周囲の人々にワクワクを波及させていると強く感じました。みんなを感動させる毎日を心から楽しまれていること、これこそが島崎さんの元気のヒケツ！

「有限会社　プリントアート」
足立区西竹の塚2－15－21－2階
03－5647－0306